

## バイオバンク事業

東北メディカル・メガバンク事業におけるバイオバンク事業とは、地域の方々を対象とした長期にわたる健康調査事業と、その事業に当たって地域の方々から預かった生体試料と医療情報などを融合したバイオバンクを構築する事業、さらにそのバイオバンクを運用する事業、そして、バイオバンクに集積した試料・情報を高度な技術で解析する事業までを含みます。住民の方々にご協力いただき、長期にわたって健康情報を追跡。追跡の対象となる多くの人の集団をコホートと呼びますが、同事業では、総計15万人にのぼる方々を対象としてコホートを形成し、同意を得た上で遺伝情報を預かり長期にわたって健康調査を行います。

同事業が行うコホート事業は、「三世代コホート」と「地域住民コホート」の2つです。また、「三世代コホート」とともに、「地域子ども長期健康調査」として、小中学生を対象とした健康調査事業も行っています。これらの調査結果は、地域の保健医療行政への反映や、協力された方々への回付による健康意識の向上、また、「地域子ども長期健康調査」のアンケート結果をもとにした、要支援児童・生徒への面談を通じた支援など、さまざまな活用が期待されています。

### ■三世代コホート

宮城県全域と岩手県の一部自治体の協力分娩施設で、妊婦の方に声掛けを行い協力を依頼。親世代・子世代を含む三世代を対象に事業を行います。

人数	約7万人
対象	対象地域に住民票があり、対象地域でお産を行う予定の妊婦の方々とそのご家族
案内方法	・対象地域内の協力分娩施設で依頼 ・地域支援センターへの来所(ご家族)
協力内容	調査票、遺伝情報を含む各種生体試料、追跡調査への協力

### ●地域子ども長期健康調査

宮城県南部の自治体に通う小中学校でのアンケート調査をもとに、震災後の子どもたちの健康の実態を把握し、適切な支援につなげていきます。

※三世代コホート調査の一環として実施

人数	約1万3千人を対象にアンケートを配布
対象	対象地域内の小中学校に通う児童・生徒
案内方法	小中学校でのアンケートの配布(回収は郵送)
協力内容	調査票、希望される場合には追跡調査

### ■地域住民コホート

宮城県と岩手県の太平洋沿岸部自治体を中心とした地域に住む20歳以上の男女を対象に調査を行います。

人数	約8万人(宮城県5万人以上、岩手県3万人程度)
対象	20歳以上の男女
案内方法	・対象地域自治体での特定健康診査会場でのお願い ・地域支援センターへの来所
協力内容	調査票、遺伝情報を含む各種生体試料、追跡調査への協力

## Interview



白石センター長  
すずき よういち  
鈴木 洋一さん

このたび、白石市、角田市、大河原町、柴田町、村田町、蔵王町、七ヶ宿町、丸森町、川崎町と、近隣住民の皆さんの健康支援や健康調査活動の拠点となる「地域支援白石センター」を開所する運びとなりました。

住民の皆さんの健康活動を支援し、医療復興に微力ながらも貢献できる支援センターを目指して、一歩ずつではありますが皆さんとともに活動してまいりたいと思っています。

東北メディカル・メガバンク機構は、①健康調査と健康支援、②次世代医療開発のための研究、③医療者の確保・育成、④バイオバンク事業などを行っていますが、地域支援センターは、主に①と②を担当いたします。

まずは、7月19日から角田市の分娩医療機関を皮きりに調査をスタートした「三世代コホート調査」の協力医療機関となる分娩施設を広げるとともに、「地域子ども長期健康調査」の結果、支援を要すると考えられる場合、個別に連絡して、希望に応じて心や体の相談を受け付けていきます。また、健康セミナーや自治体と協力した講演会などを開催する予定です。さらに採血や検査が行えるセンターとなるよう取り組んでいきたいと思っています。

### アンケート調査に基づく子ども支援を開始

～東北メディカル・メガバンク機構からのお知らせ～

平成25年6月に公立小中学校に配布された「地域子ども長期健康調査」は、多くの保護者の方々からアンケートの返送をいただきました。ご協力ありがとうございました。

7月23日から電話による結果回付を開始し、白石市にお住まいの皆さんにも、電話相談窓口の岩沼センターから電話をおかけしています。面談は、白石センターと岩沼センターの両方で実施しますので、電話で希望をお伝えください。

#### ●だれが利用できますか？

東北メディカル・メガバンク機構の「地域子ども長期健康調査」が行った「宮城県小・中学生の健康アンケート調査」に協力いただいた保護者とお子さんが対象です。希望に応じて電話相談や面談を行います。

#### ●どのようにして利用するのですか？

アンケート協力時に結果のお知らせを希望された方には、郵送や電話でお知らせします。アンケート回答時には希望されなかったものの相談を希望される場合は、電話相談窓口のある岩沼センターにご連絡ください。あらためて相談の調整をお受けします。

#### ●電話相談窓口 地域支援岩沼センター ☎0223-35-7037

月～金の9:00～17:00(土・日、祝日、年末年始はお休み)

#### ●地域子ども長期健康調査支援対応センター

- ・地域支援白石センター 白石市字沢目8-29
- ・地域支援岩沼センター 岩沼市館下1丁目58-1

※電話相談窓口の岩沼センターを通して予約してください

東北メディカル・メガバンク機構が取り組んでいるさまざまな事業は、同機構のホームページをご覧ください。

#### ●東北メディカル・メガバンク機構

<http://www.megabank.tohoku.ac.jp/>



1\_東北メディカル・メガバンク機構「地域支援白石センター」開所を祝いテープカットを行う関係者 2・3\_山本機構長(いずれも左)と協定を交わす風間市長



東北大学の東北メディカル・メガバンク機構が長期健康調査などの拠点を設置

## 「地域支援白石センター」が開所

## Voice

住民の方々の長期的な健康の向上と  
個別化医療・個別化予防の実現を目指します



メガバンク機構長  
やまもと まさゆき  
山本 雅之さん

東北大学「東北メディカル・メガバンク機構」は、東日本大震災からの創造的な復興を成し遂げるため、平成24年2月に発足しました。5月20日からは、「地域住民コホート調査」を七ヶ浜町からスタート。7月19日からは新たに、県南部を皮切りに「三世代コホート調査」をスタートできる運びとなったことを大変うれしく思っています。

生まれてくるお子さんの健康と未来のため、そして、ご家族の皆さんの健康のために取り組む「三世代コホート調査」では、妊婦さんを中心としたご家族の皆さんの健康調査を実施し、結果のお知らせを通じて皆さんの健康向上に取り組みたいと思います。そして、あらかじめ皆さんの体質や生活習慣を調べ、それらと将来の病気の発症の関連を明らかにし、その結果を明らかにすることで、皆さんの体質や遺伝子に合わせた新しい予防法や医療を切り開くことを目指しています。

遺伝子は洋服で言えば「寸法」で、私たちの健康の寸法は「遺伝子」です。遺伝子の情報をしっかり調べて、未来の医療である個別化医療・個別化予防の実現に向けて、住民の方々の健康を見守り、同時に次世代医療を開発するための研究を行い、医療復興に貢献できるようさまざまな未来型医療に取り組んでまいりたいと思います。協力医療機関や地域支援センターなどでぜひ説明をお聞きいただき、調査へご参加いただきますようお願いいたします。

東北メディカル・メガバンク機構と協力協定を締結  
6月18日、市と東北大の東北メディカル・メガバンク機構が、「東北メディカル・メガバンク事業に関する協力協定」を締結しました。締結式には、同機構の山本雅之機構長など11人が出席。山本機構長と風間市長が協定書に署名しました。

防や早期発見など、個人の健康づくり役に役立つ利益が期待され、事業の推進に協力していきたいと思っています」とあいさつ。山本機構長は、「遺伝子情報を明らかにすることで、個別化医療と個別化予防を軸とした未来型医療を構築し、その成果を地域住民の方々に還元していきたいと思えます」と話しました。

7町を管轄する活動拠点とするために開設した「地域支援白石センター」で開所式が行われました。式には関係者など約60人が出席。関係者がテープカットを行い、開所を祝いました。白石センターは、「三世代コホート調査」で働くゲノム・メダイカルリサーチコーディネーターの活動拠点や「地域子ども長期健康調査」の支援拠点。「三世代コホート調査」は、7月19日から角田市の分娩医療機関を皮きりに調査がスタートしました。今後、順次協力医療機関となる分娩施設を広げ、調査への協力を呼び掛けていく予定です。